

# 第77回 近畿数学教育学会例会プログラム (修正版)

日時：2025年2月2日(日)

会場：奈良教育大学

9:30 - 9:50 受付

研究発表 20分, 質疑 10分

9:50 - 10:00 <A会場>【101講義室】 開会行事

<p>&lt;A会場&gt;【101講義室】 座長 中西 正治 10:00 - 10:30 A1. 数学的な深い学びを評価する新たなツールの可能性 奈良教育大学大学院生 藤井 翔太</p> <p>10:35 - 11:05 A2. 認知の身体化理論を視座とした数学教育研究の再考 奈良教育大学教職大学院生 有川 倅貴</p> <p>11:10 - 11:40 A3. 小学校第4学年における「角」概念の形成過程に関する研究 : R.Brandomの推論主義の視座から 神戸大学大学院生 三好 杏乃</p>	<p>&lt;B会場&gt;【102講義室】 座長 西仲 則博 10:00 - 10:30 B1. 数学科授業における生徒の「問い」に関する研究: 「問い」の分類と発展性を中心に 滋賀大学教職大学院生 中橋 尚伸</p> <p>10:35 - 11:05 B2. 創発連鎖(数学的コミュニケーション)による関係的理解へ: 和算的教材を通じた, 児童の様々な思考過程の検証 四天王寺小学校 瀬田 真裕美 四天王寺小学校 山本 真理子</p> <p>11:10 - 11:40 B3. 探究における「深掘り」としてのSTEAM教育について: 事例「デジタル地図に発し, 古代の〈位置付ける〉活動へ」 滋賀県和算研究会 中西 隆</p>
--	---

11:45 - 12:20 ポスター発表<B会場>【102講義室】

- |   |  |                         |
|---|--|-------------------------|
| P1. 逆思考文章題における動画教材の活用に関する研究                         | 島根大学学部生                                  | 狩野 生翔                   |
| P2. 単位量あたりの計算単元における翻訳活動に関しての考察                      | 島根大学学部生                                  | 谷田 大海                   |
| P3. 算数科における「よい説明」に至る議論の分析                           | 島根大学学部生                                  | 松本 翔太                   |
| P4. 算数教育の発展に向けた国際比較研究<br>: 日本とカンボジアの算数教科書の比較に焦点をあてて | 島根大学学部生<br>島根大学                          | 内藤 綾香<br>下村 岳人          |
| P5. すべての児童が統合的・発展的に考えることを志向した教師の支援に関する研究            | 一宮市立大和東小学校<br>一宮市立木曾川東小学校<br>一宮市立小信中島小学校 | 梶浦 晋平<br>内藤 真人<br>魚住 昌平 |
| P6. 中高接続を志向した数学的活動の教材開発に関する研究: 50mのデータを活用して         | 岐阜聖徳学園大学学部生<br>岐阜聖徳学園大学                  | 井上 照瑛<br>黒田 大樹          |

12:20 - 13:20 昼休み

13:20 - 14:30 <A会場> 【101 講義室】

講演『 実践と理論の往還による算数・数学教育研究—子どものエラーと対峙して— 』

近畿数学教育学会前会長・滋賀大学 高澤 茂樹 先生

<A会場> 【101 講義室】	<B会場> 【102 講義室】	<C会場> 【104 講義室】
<p>座長 大西 俊弘 14:35 - 15:05 A4. もとにするものを見いだす Partitioning に関する一考察  島根大学大学院生 升谷 有里 島根大学教育学部附属義務教育 学校前期課程 梶谷 典弘</p>	<p>座長 吉川 昌慶 14:35 - 15:05 B4. 正比例関数の導出に関する 実践的研究: プーリーを利用し たバネの実験教具の開発  三重大学学部生 勝原 茜子</p>	<p>座長 篠原 雅史 14:35 - 15:05 C4. 立体図形を平面で捉える認 識の変容に関する調査研究: 佐 伯の視点論を視座とする分析を 通して  島根大学教職大学院生 箕矢 明音</p>
<p>15:10 - 15:40 A5. 連続量を重視した確率分布 の実践的考察  三重大学教職大学院生 紙谷 航希</p>	<p>15:10 - 15:40 B5. 素数と合成数の判別法の検 討について: 素因数分解に代わ る判別法の検討  独立行政法人農林水産消費安全 技術センター神戸センター 諸橋 保</p>	<p>15:10 - 15:40 C5. 我が国における図形の概念 形成に関わるカリキュラムの研 究: 算数教科書の分析を通して  島根大学大学院生 板垣 大助</p>
<p>15:45 - 16:15 A6. 中学校の確率問題における 文章表現の影響に関する調査研 究  近畿大学 西仲 則博</p>	<p>15:45 - 16:15 B6. 中学校教科書の問題をもと にした数学的モデリング教材の 開発: 単元「相似」における教 材の開発と授業実践  奈良教育大学教職大学院生 綿谷 一恵</p>	<p>15:45 - 16:15 C6. 中学校数学における図形の 「証明」の指導に関する実践的 考察: “角と平行線”を「証明」 の導入として  三重大学教職大学院生 浅井 敬介</p>
<p>16:20 - 16:50 A7. Reasoning Up and Down による小学校第5学年までの分 数指導: Unitizing・Norming の 発達に着目して  神戸大学大学院生 高島 駿 神戸大学大学院 岡部 恭幸</p>	<p>16:20 - 16:50 B7. 小学校算数科における数学的 操作の意味理解獲得を促す動的 な対象を定義する活動に関する 研究  滋賀大学教職大学院生 井手 駿真 滋賀大学 渡邊 慶子 滋賀大学 大橋 宏星</p>	<p>16:20 - 16:50 C7. 逆遠近法を利用した日常生活 に関する数学の教材づくり: 中 学生を対象とする数学の有益性 の実感を目指した授業を通して  岐阜大学大学院生 山田 絢斗 岐阜市立陽南中学校 堀江 尚暢 滋賀大学 詫摩 京未 岐阜大学大学院 河崎 哲嗣</p>

16:50 - 17:00 <A会場> 【101 講義室】 閉会行事